

## IV 第 58 回市政に関する世論調査の結果

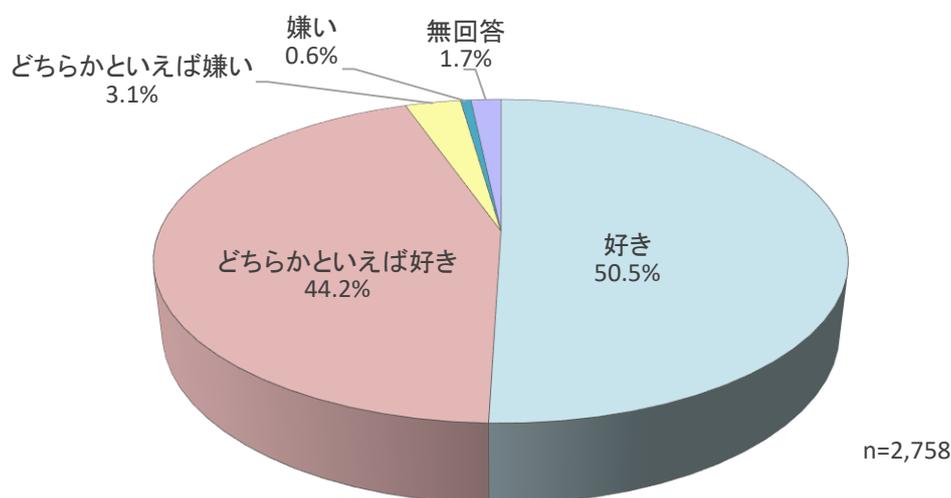
### 1. 宇都宮市に対する感じ方について

#### (1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が9割半ば

問 1	宇都宮市を好きですか。それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,758
1	好き	50.5%
2	どちらかといえば好き	44.2%
3	どちらかといえば嫌い	3.1%
4	嫌い	0.6%
	(無回答)	1.7%

<図IV-1-1>全体



宇都宮市を好きか、嫌いかを聞いたところ、「好き」が50.5%、「どちらかといえば好き」が44.2%で、これらを合わせた【好き（計）】は94.7%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が3.1%、「嫌い」が0.6%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は3.7%と1割に満たなかった。(図IV-1-1)

<参考>

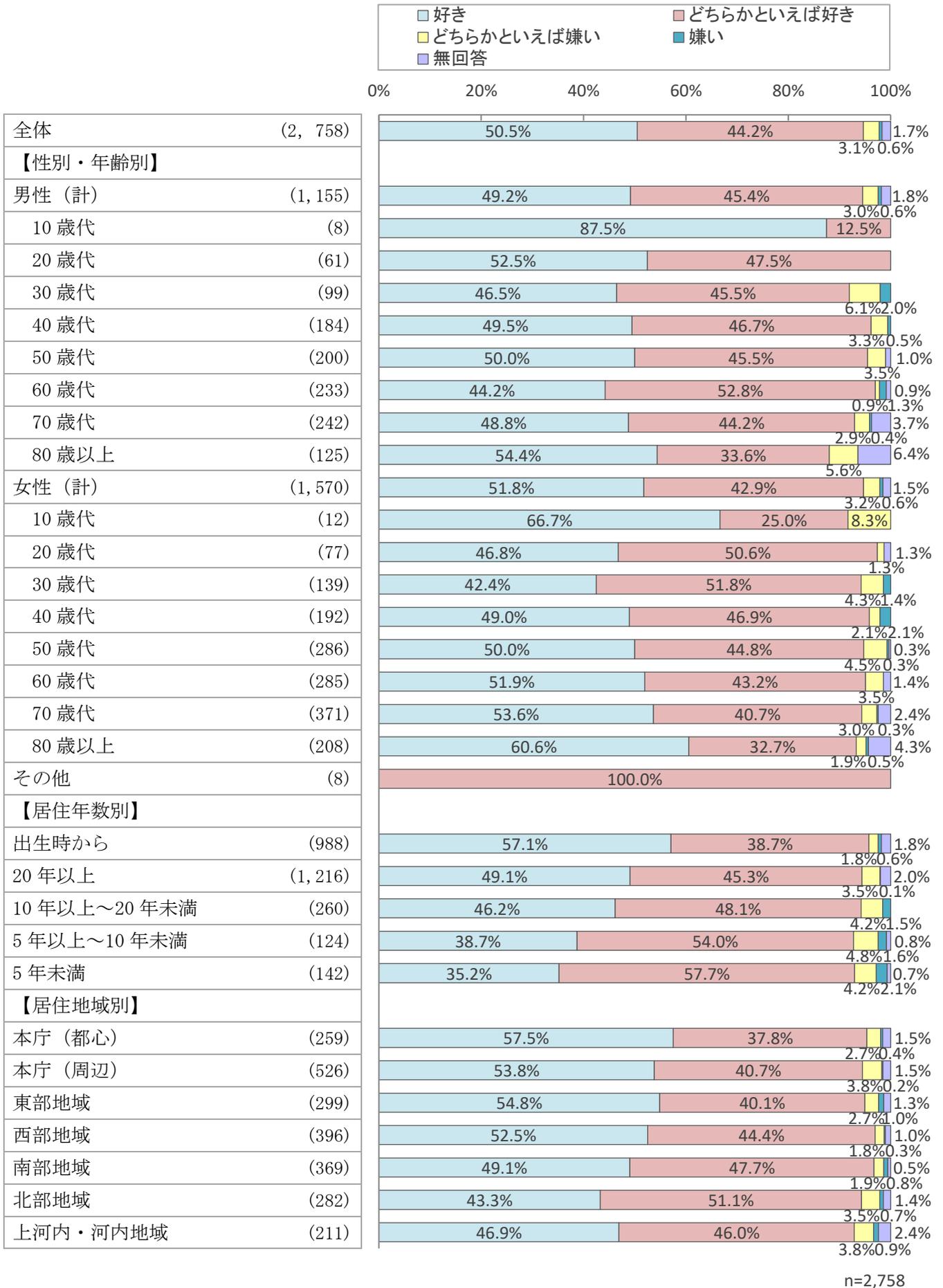
性別・年齢別で見ると、【好き（計）】は<その他>を除くと、<男性10・20歳代>が100.0%、<女性20歳代>が97.4%であった。一方、【嫌い（計）】は<女性10歳代>が8.3%で最も高く、次いで<男性30歳代>が8.1%であった。(図IV-1-2)

居住年数別で見ると、【好き（計）】は<出生時から>が95.8%で最も高く、次いで<20年以上>が94.4%であった。一方、【嫌い（計）】は<5年以上～10年未満>が6.4%で最も高く、次いで<5年未満>が6.3%であった。(図IV-1-2)

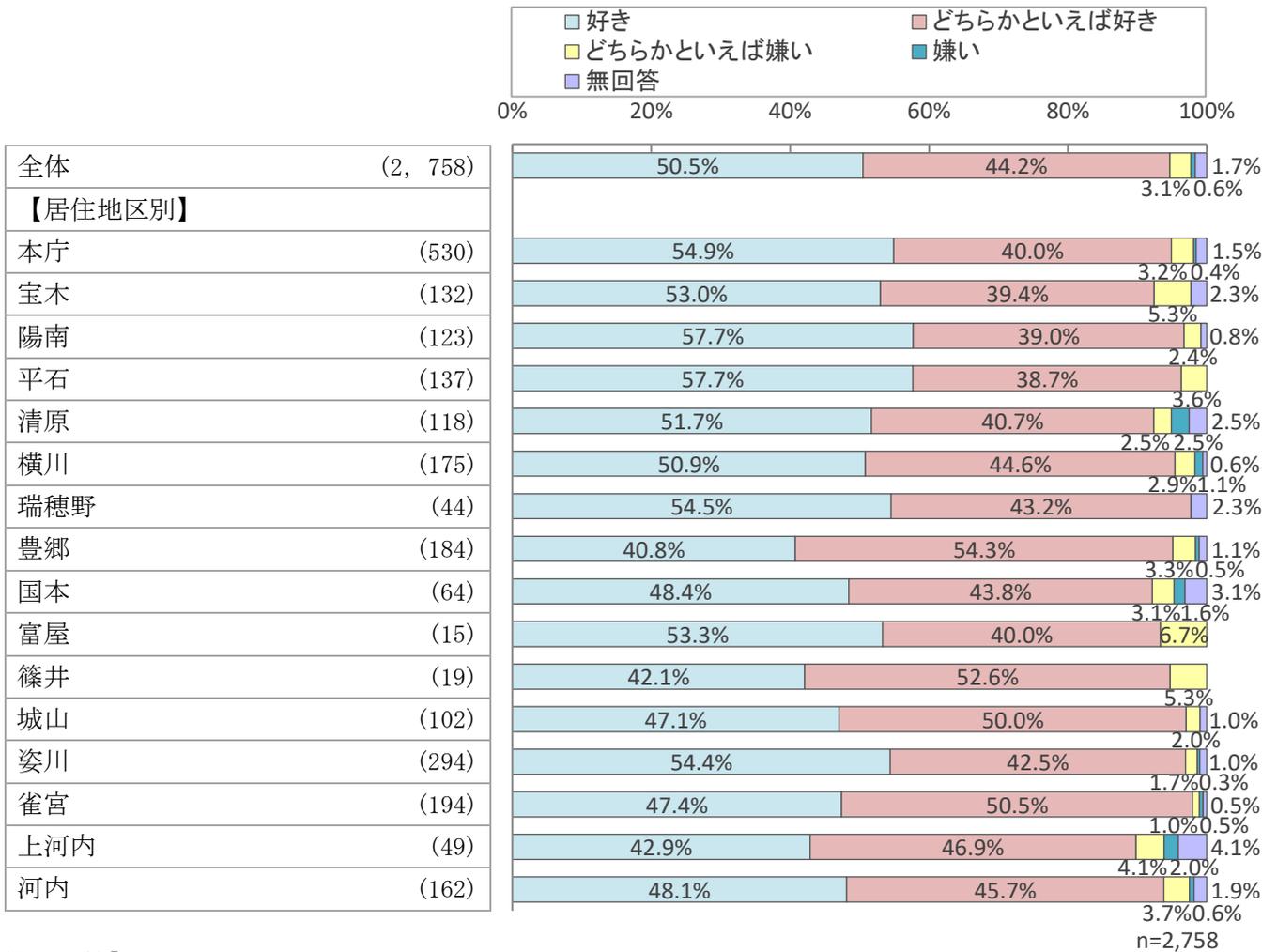
居住地域別で見ると、【好き（計）】は<西部地域>が96.9%で最も高く、次いで<南部地域>が96.8%であった。一方、【嫌い（計）】は<上河内・河内地域>が4.7%で最も高く、次いで<北部地域>が4.2%であった。(図IV-1-2)

居住地区別で見ると、【好き（計）】は<雀宮>が97.9%で最も高く、次いで<瑞穂野>が97.7%であった。一方、【嫌い（計）】は<富屋>が6.7%で最も高く、次いで<上河内>が6.1%であった。(図IV-1-3)

<図IV-1-2>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別



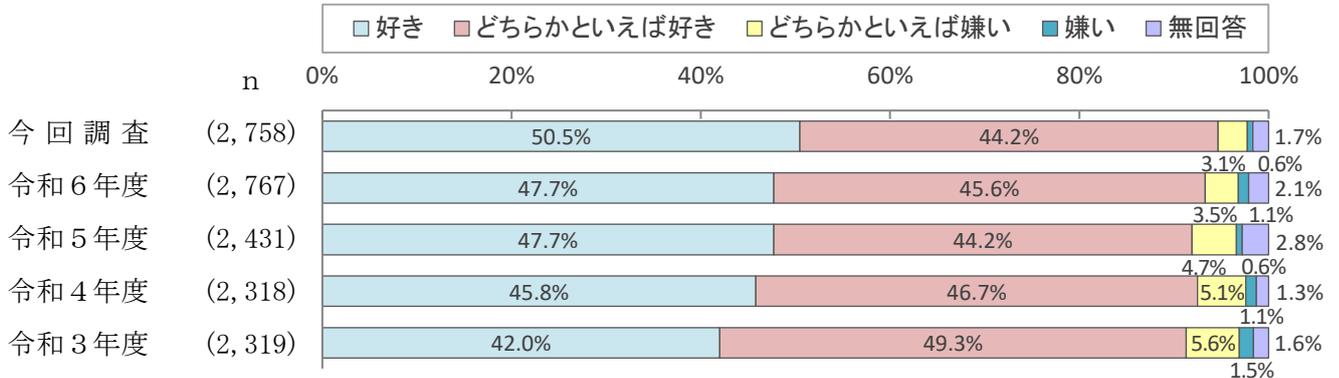
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
令和7年度	50.5%	44.2%	3.1%	0.6%	1.7%
令和6年度	47.7%	45.6%	3.5%	1.1%	2.1%
令和5年度	47.7%	44.2%	4.7%	0.6%	2.8%
令和4年度	45.8%	46.7%	5.1%	1.1%	1.3%
令和3年度	42.0%	49.3%	5.6%	1.5%	1.6%

<図IV-1-4>経年比較



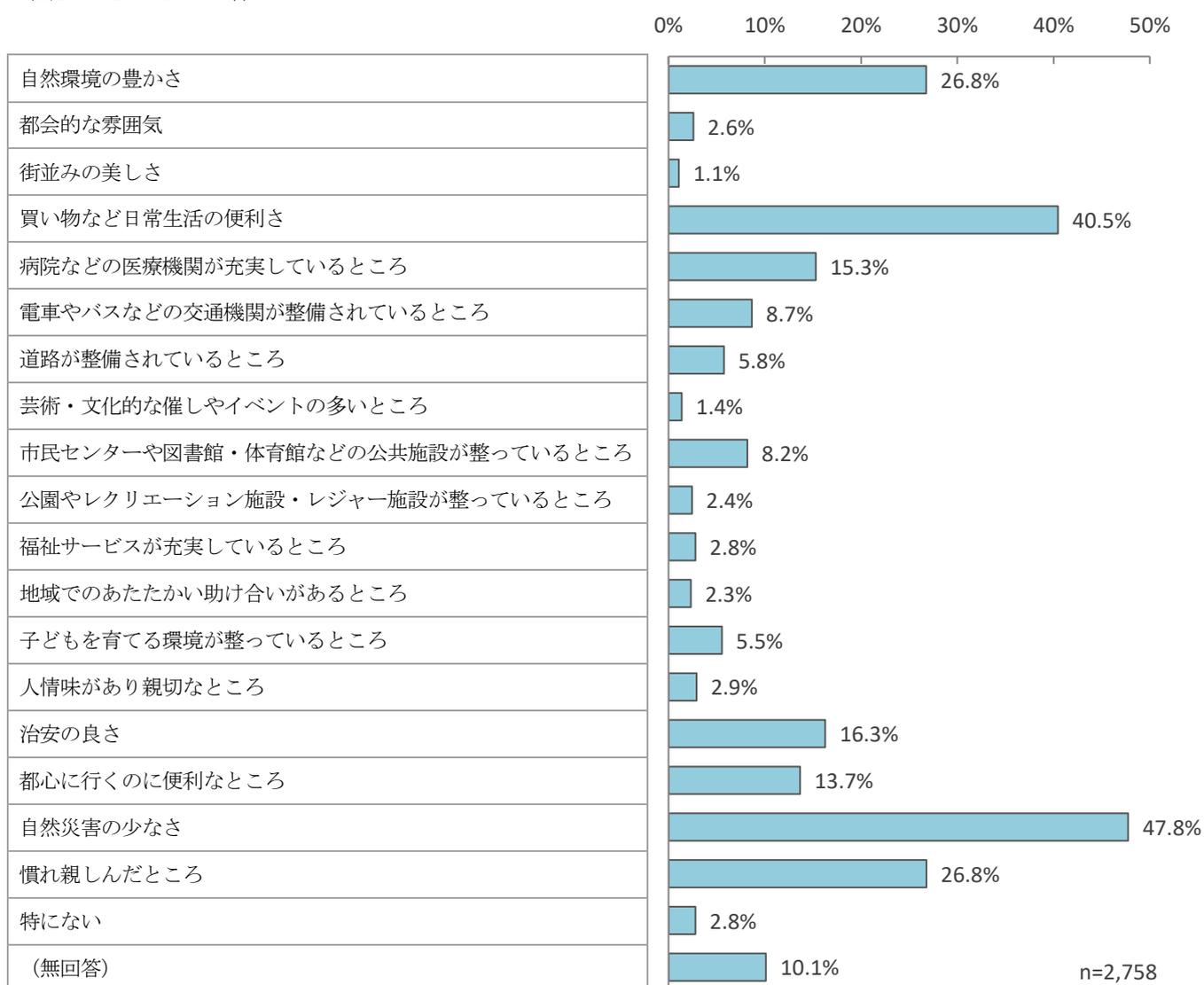
【好き(計)】及び【嫌い(計)】について過去4年間と比較したところ、「好き」が徐々に増加している。(図IV-1-4)

## (2) 好きな理由

### ◇ 「自然災害の少なさ」が5割弱

問2 宇都宮市の好きだと思うところをあげてください。		(○は3つまで)
		n=2,758
1	自然環境の豊かさ	26.8%
2	都会的な雰囲気	2.6%
3	街並みの美しさ	1.1%
4	買い物など日常生活の便利さ	40.5%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	15.3%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	8.7%
7	道路が整備されているところ	5.8%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	1.4%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	8.2%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	2.4%
11	福祉サービスが充実しているところ	2.8%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	2.3%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	5.5%
14	人情味があり親切なところ	2.9%
15	治安の良さ	16.3%
16	都心に行くのに便利なところ	13.7%
17	自然災害の少なさ	47.8%
18	慣れ親しんだところ	26.8%
19	特にない	2.8%
	(無回答)	10.1%

<図IV-1-5>全体



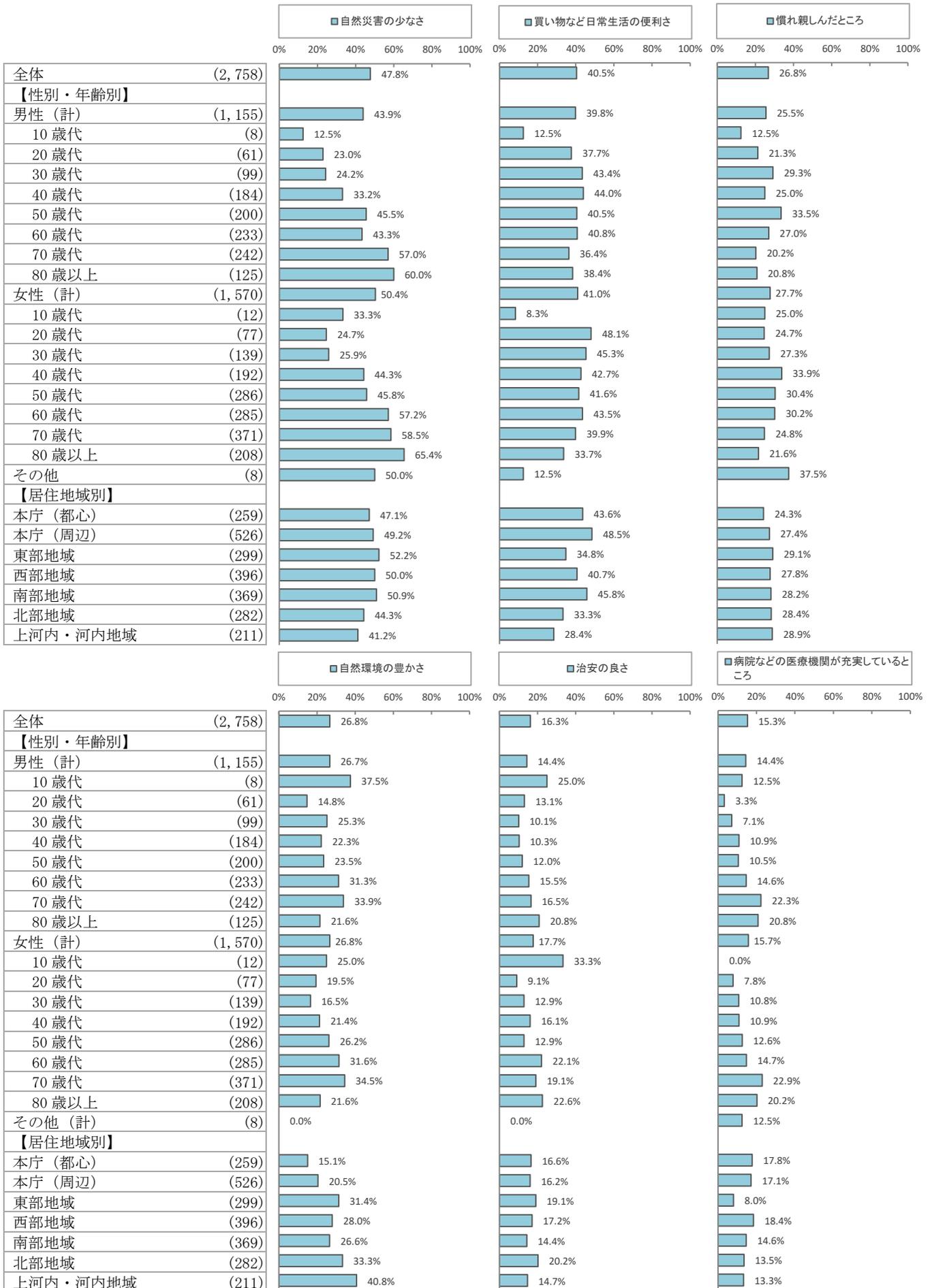
宇都宮市で好きだと思うところについては、1位が「自然災害の少なさ」で47.8%、2位「買い物など日常生活の便利さ」が40.5%、3位「自然環境の豊かさ」「慣れ親しんだところ」が26.8%、5位「治安の良さ」が16.3%、6位「病院などの医療機関が充実しているところ」が15.3%と続いた。(図IV-1-5)

<参考>

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<女性 80歳以上>が65.4%で最も高く、次いで<男性 80歳以上>が60.0%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は<女性 20歳代>が48.1%で最も高く、次いで<女性 30歳代>が45.3%であった。「慣れ親しんだところ」は<その他>を除くと、<女性 40歳代>が33.9%で最も高く、次いで<男性 50歳代>が33.5%であった。「自然環境の豊かさ」は<男性 10歳代>が37.5%で最も高く、次いで<女性 70歳代>が34.5%であった。「治安の良さ」は<女性 10歳代>が33.3%で最も高く、次いで<男性 10歳代>が25.0%であった。「病院などの医療機関が充実しているところ」は<女性 70歳代>が22.9%で最も高く、次いで<男性 70歳代>が22.3%であった。(図IV-1-6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は<東部地域>が52.2%、「買い物など日常生活の便利さ」は<本庁(周辺)>が48.5%、「慣れ親しんだところ」は<東部地域>が29.1%、「自然環境の豊かさ」は<上河内・河内地域>が40.8%、「治安の良さ」は<北部地域>が20.2%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<西部地域>が18.4%で最も高かった。(図IV-1-6)

<図IV-1-6>性別・年齢別／居住地域別（上位6項目）

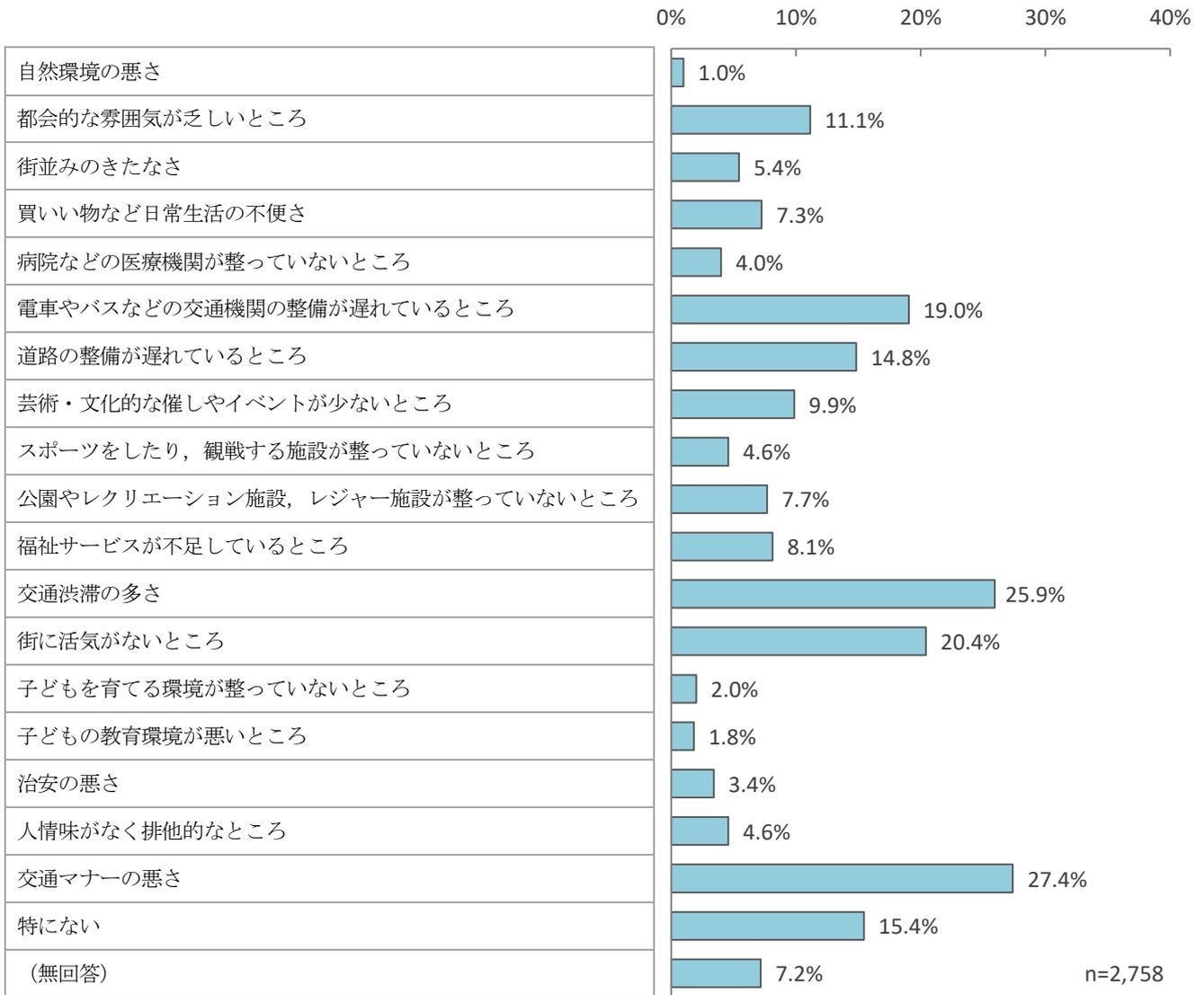


### (3) 嫌いな理由

#### ◇「交通マナーの悪さ」が3割弱

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,758
1	自然環境の悪さ	1.0%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	11.1%
3	街並みのきたなさ	5.4%
4	買い物など日常生活の不便さ	7.3%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	4.0%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	19.0%
7	道路の整備が遅れているところ	14.8%
8	芸術・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.9%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	4.6%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	7.7%
11	福祉サービスが不足しているところ	8.1%
12	交通渋滞の多さ	25.9%
13	街に活気がないところ	20.4%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	2.0%
15	子どもの教育環境が悪いところ	1.8%
16	治安の悪さ	3.4%
17	人情味がなく排他的なところ	4.6%
18	交通マナーの悪さ	27.4%
19	特にない	15.4%
	(無回答)	7.2%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で27.4%、2位「交通渋滞の多さ」が25.9%、3位「街に活気がないところ」が20.4%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」が19.0%、5位「特にない」が15.4%、6位「道路の整備が遅れているところ」が14.8%と続いた。(図IV-1-7)

<参考>

上位6項目について性別・年齢別で見ると、「交通マナーの悪さ」は<その他>を除くと、<男性40歳代>が37.0%で最も高く、次いで<女性10歳代>が33.3%であった。「交通渋滞の多さ」は<男性20歳代>が42.6%で最も高く、次いで<男性40歳代>が41.8%であった。「街に活気がないところ」は<女性60歳代>が30.2%で最も高く、次いで<男性70歳代>が26.0%であった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<男性20歳代>が24.6%で最も高く、次いで<女性50歳代>が24.5%であった。「特にない」は<男性10歳代>が62.5%で最も高く、次いで<女性80歳以上>が26.4%であった。「道路の整備が遅れているところ」は<男性70歳代>が20.2%で最も高く、次いで<男性80歳以上>が16.8%であった。(図IV-1-8)

上位6項目について居住地域別で見ると、「交通マナーの悪さ」は<南部地域>が32.0%、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が28.4%、「街に活気がないところ」は<北部地域>が23.4%、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が29.4%、「特にない」は<西部地域>が18.2%、「道路の整備が遅れているところ」は<西部地域>が16.7%でそれぞれ最も高かった。(図IV-1-8)

<図IV-1-8>性別・年齢別／居住地域別（上位6項目）

